

広島市歯科医師会だより



11月号

Hiroshima City Dental Association

No.187 (R4.11.9)



開催迫る!

目次

令和4年度 学校歯科医協議会(再通知).....	1 ページ
行事報告	
第4回 支部長・副支部長会議.....	2 ページ
第53回十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会.....	3 ページ
支部だより	
中区支部.....	4 ページ
東区支部.....	5 ページ
南区支部.....	7 ページ
ちよつとイイ話	
休日診療保険請求における留意事項について(総務部).....	8 ページ
根面齲蝕に対するフッ化物歯面塗布処置について(学術部).....	8 ページ
2022年 クリスマスパーティー開催!(厚生部).....	9 ページ
学校歯科健康診断におけるその他の疾病及び異常について(地域歯科保健部).....	10 ページ
元気じゃけんひろしま 21(第2次)推進会議	
生活習慣病予防及び働く世代の健康づくりの最終評価について(地域歯科保健部).....	11 ページ
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部).....	12 ページ
広島市健康づくりセンター健康科学館への口腔衛生普及啓発資料寄贈(地域歯科保健部).....	12 ページ
今月の知っておきたいこと(広報部).....	13 ページ
YouTube(広報部).....	14 ページ
FMちゅーピー(広報部).....	15 ページ
LINE公式アカウント 友達募集.....	15 ページ
会長コラム『柔しく剛く』十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会に参加して.....	16 ページ
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み.....	17 ページ
10月定例理事会報告.....	18 ページ

12月17日(土) Xmas Party

HILTON HIROSHIMA

※詳細は同封の案内参照



開催迫る！

令和4年度 学校歯科医協議会（再通知）

今年度の学校歯科医協議会を、本年より新たに広島大学小児歯科教授に就任された野村良太先生をお招きし、下記の日程および内容にて開催いたします。

外傷をテーマに緊急時における対応を学べる良い機会であり、休日歯科診療においてもお役立ていただけます。なお、低フォスファターゼ症についてもご講演いただく予定です。奮ってご参加ください。

記

日 時 令和4年11月24日（木） 午後7時
場 所 広島県歯科医師会館 2階 「ハーモニーホール」
内 容

1. 退任学校歯科医への感謝状贈呈
2. 新任学校歯科医紹介
3. 講演会

演 題 「子どもの口の外傷～シンプルでベストな対処法を目指して」
講 師 広島大学大学院医系科学研究科小児歯科学 野村良太教授

【講師略歴】



野村良太教授

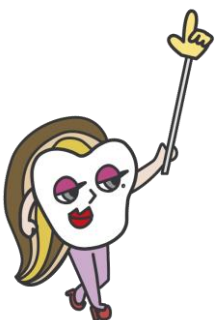
2002年大阪大学歯学部卒業
2002年大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室入局
2006年大阪大学大学院歯学研究科博士課程修了
2006年大阪大学歯学部附属病院小児歯科医員
2010年大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室助教
2011年大阪大学歯学部附属病院小児歯科講師
2015年大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室准教授
2022年広島大学大学院医系科学研究科小児歯科学教授

4. その他

※**開会は午後7時となっております。**お間違えのないようお願いいたします。

※ご出席のお申し込みは、10月配布の用紙をご使用いただくか、本会事務局までお問合せください。

※本講演会は本会会員診療所に勤務するスタッフの方にもご参加いただくことができます。



行事報告

第4回 支部長・副支部長会議

日時：10月19日(水)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会 2階「大会議室」

執行部から熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事が出席した。始めに熊谷宏会長より「前回の支部長・副支部長会議は新型コロナウイルス感染症の拡大により Zoom 開催となりましたが、今回は対面開催できうれしく思います。状況を見ながらではありますが、今年はクリスマスパーティーも予定しています。皆さんの参加もぜひお願いいたします。本日も慎重審議のほどよろしく願いいたします」と挨拶があった。報告、協議事項は以下の通りである。

報告

中区支部

- 8月18日 第3回支部長・副支部長会(Web)
- 8月22日 新入会面談
- 8月27日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会(書面議決)
- 9月6日 中区支部説明会
- 9月9日 災害時医療研修会
- 9月16日 国泰寺圏域多職種連携会議
- 9月26日 吉島圏域多職種連携会議小委員会
- 10月2日 中区健康よろず相談会

東区支部

- 8月18日 第3回支部長・副支部長会(Web)
- 8月27日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会(書面議決)
- 9月2日 医療・介護・民生委員による多職種連携研修会
- 9月15日 認知症けあカフェ in 東区！～みんなでつないでいます！認知症の支援～
- 9月16日 東区多職種連携の会～ひがし絆～
- 9月22日 「健康相談&測定会」での歯科相談
- 9月28日 フェイスネット「TRITORUS」講習会
- 9月29日 東区在宅サポート研修会～ひがしの在宅支え隊～
- 10月14日 フェイスネット「TRITORUS」講習会

南区支部

- 8月18日 第3回支部長・副支部長会(Web)
- 8月27日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会(書面議決)

- 10月3日 令和4年度段原包括圏域在宅医療・介護関係者研修会・連絡会
- 10月7日 令和4年度南区認知症初期集中支援事業研修会(Web)
- 10月13日 令和4年度広島市歯科医師会南区支部理事会

西区支部

- 8月18日 第3回支部長・副支部長会(Web)
- 8月24日 第1回災害対策委員会(Web)
- 8月27日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会(書面議決)
- 9月8日 第11回井口・井口台圏域在宅医療・介護関係者の連携会議
- 9月22日 古田圏域令和4年度第1回医療と介護の連携会議(Web)
- 9月29日 己斐・己斐上圏域第17回医療と介護の連携に関する意見交換会

執行部

- ・年末における休日歯科救急医療実施医療機関の選定について(お願い)
- ・令和4年8月、9月分の休日診療保険請求における留意事項について

協議

中区

- ・ひろしま避難誘導アプリ
- ・2024年より開始されるマイナンバーカードによる保険証の取扱いについて

第53回十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会

日時：10月22日(土)午後2時30分

場所：新潟ホテルイタリア軒

十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会は、川崎市、熊本市、名古屋市、神戸市、北九州市、広島市、札幌市、福岡市、仙台市、さいたま市、岡山市、横浜市、新潟市の13指定都市の歯科医師会で構成される協議会で、共通した地方自治体と関連のある都市の市民の保健・医療・福祉の向上及び歯科医師会相互の発展向上に寄与し、各都市にて大規模災害が発生した時に、相互扶助の精神に基づきお互い

の支援活動をするものである。

年一度開催される第53回十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会は、令和2年に開催予定だったが新型コロナウイルス感染症拡大のため、3年ぶりに新潟市歯科医師会主幹のもと新潟市で開催され、執行部から熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事が出席して下記要項にて開催された。

「新型コロナと歯科医療～最前線の我々はいかにコロナと向かい合ってきたか～」

1. 開会挨拶 新潟市歯科医師会 荒井節男会長
2. 来賓挨拶 新潟市 野島晶子副市長
日本歯科医師会 堀憲郎会長
新潟県歯科医師会 松崎正樹会長
3. 出席者紹介
4. 特別講演 「健康寿命の延伸に向けて～歯科医療の過去・現在・未来～」
日本歯科医師会 堀憲郎会長
5. 基調講演 「新潟市における新型コロナウイルス対応」
新潟市保健衛生部 山崎哲医監
6. 協議 各会事業例の紹介
7. 次回開催地 川崎市歯科医師会 松山知明会長
8. 閉会の辞 新潟市歯科医師会 小竹弘之副会長



(左) 会場の新潟ホテルイタリア軒

(右) 参加した、左より瓜生賢副会長、熊谷宏会長、能美和基専務理事

支部だより

中区支部

中区健康よろず相談会

日時：10月2日(日)午前10時

場所：大手町平和ビル 5階

標記の会が開催された。

新型コロナウイルス感染症の影響により、3年ぶりの開催となった。運営に多少の課題はあったが、どの部署の担当者も開催できたことについて安堵していた。

歯科部門では、参加者に中高年が多いことを考慮して、「口腔機能低下症」をテーマに、「舌圧」「口腔細菌数」「口臭測定」「口腔乾燥」「オーラルディアドコキネシス(パタカ運動)」を主に行った。

身近な歯科相談をする参加者も、このような検査を受けることでお口の機能に関心を持ち、その重要性を理解された様子だった。

なお、波田佳範中区支部長、前田羊一地域歯科保健部委員長が出務した。



波田佳範支部長と前田羊一地域歯科保健部委員長

広島市吉島地域包括支援センター主催「介護予防教室」

日時：10月13日(木)午前10時15分

場所：広島市吉島福祉センター

広島市吉島地域包括支援センター主催の介護予防教室が開催され、辰本将哉中区支部会員が「オーラルフレイルと口腔ケア」と題して地域住民10名に講演を行った。コロナ感染症の流行を鑑み、例年行っていたお口の体操やブラッシング指導等は紹介のみとし、内容を一部変更して行った。講演ではフレイルとオーラルフレイルについて説明し、予防のためにはセルフケアが必要不可欠であることを伝えた。また、ブラッシング以外のセルフケアとして、ペコぱんだを利用した舌のトレーニングやパタカラ運動を自宅で行うよう勧めた。コロナ禍で引きこもりがちであるが、地域住民同士の交流の場を通じてよく話す・よく笑う・よく食べることも大切であると述べた。最後に節目年齢歯科健診や在宅訪問歯科健診等の本会事業を紹介し講演を終えた。今後も本会を通じて地域活動を続けていく所存で

ある。



講演の様子

「東区多職種連携の会～ひがしの絆～」

日時：9月16日(金)午後7時

場所：東区総合福祉センター 3階「大会議室」

標記の会が開催された。

会場およびオンラインで医師・歯科医師・薬剤師・看護師・介護支援専門員・理学療法士・介護職・包括担当者・行政担当者等105名が参加した。金谷雄生広島市東区地域保健対策協議会会長による挨拶から始まり、「在宅医療・介護連携の手引き～在宅同行研修参加での基礎知識」についてと題し、医師会からは「在宅医療の流れや訪問診療と往診の違い」について、看護師からは「訪問看護ステーション」について、理学療法士からは「訪問リハビリテーション」について、歯科医師会からは野坂覚地域歯科保健部委員による「訪問歯科診療」について、薬剤師会からは「訪問薬剤指導管理」について、介護支援専門員からは「介護保険制度」についてと、持ち回りで足早に講義が合計約1時間30分行われた。東区地対協は2022年7月に「東区在宅医療・介護の手引き」として在宅同行研修参加での基

礎知識と参加要綱を作成しており、その内容に即した説明であった。医師会より同行研修の実際や申し込み方法等について説明、その後、質疑応答において介護保険のしくみやACPについて活発に論議された。熱心な雰囲気の中、市岡泰三東区地対協副会長の閉会の辞にて閉会となった。



講演の様子

令和4年度 第1・2回フェイスネット「TRITRUS」講習会 入門編(主に初めての連携参加者)

日時：9月28日(水)・10月14日(金)午後7時

場所：広島医師会館 3階「視聴覚室」

西区観音本町にある広島医師会館にて広島市東区地域保健対策協議会(東区地対協)及び一般社団法人広島市東区医師会の共催にて標記講習会が開催された。沖政盛治広島市東区医師会理事・東区地対協理事の司会により始まり、金谷雄生広島市東区医師会会長・東区地対協会長の挨拶があった。その後、(株)カナミックネットワークの進行により、第1部としてシステムの特徴と利用のメリット、基本操作説明があり、実際にパソコンを操作してのハンズオン講習(ケアレポートの書き込みやタイムラインの見方、検索方法、新機能のタグの付け方、会議の調整機能等)となった。このシステムは医療・看護・介護・自治体等という多職種間の情報共有を容易にし、地域包括ケアをよりよく行うためのクラウドサービスとして東区内で徐々に運用が広がってきている。この度の講習会は新型コロナウイルス感染症感染予防として1回の人数を制限しての開催となり、医師、歯科医師、訪問看護師、ケアマネージャー、

ヘルパー、地域包括センターなど主に初めての連携参加者の入門編として15名程が参加した。第2部として古江俊昭古江クリニック院長により担当している患者事例を用いて実際の運用状況やシステムの使用方法的説明紹介が行われた。すでに積極的に運用している受講者もいて、今後のICTを活用した多職種のコミュニケーションの発展に関する活発な質疑応答もあり盛会の内に閉会した。

なお、東区支部から第1回は岩井敏之氏と前島真紀子副支部長、第2回目は宮村健一東区支部長が参加した。



講習会の様子

令和4年度 在宅医療研修会

日時：10月21日(金)午後7時

場所：東区総合福祉センター 3階「大会議室」

広島市東区医師会及び広島市東区地域保健対策協議会の共催で行われた。松岡龍雄広島市東区医師会理事(東区地対協常任理事)座長のもと、金谷雄生東区医師会会長(東区地対協会長)の挨拶で始まった。

その後、講演が行われ、演題1は「快眠術～意外と知らない上手な眠りと下手な眠り～」で、講師は濱田隆晴一般

社団法人日本快眠生活研究所主任講師(一般社団法人日本睡眠教育機構認定上級睡眠健康指導士)が務められた。

下手な眠りをとることは睡眠負債を重ねることになり、免疫機能低下、作業能力低下、メンタルヘルスの乱れ、認知症の要因となり得る。上手な睡眠をとるために以下の事象を提唱された。

1.睡眠圧

目覚めている限り脳脊髄液には、睡眠促進物質が溜まっていく。これが十分溜まった時高い睡眠圧がかかる。これには適度な有酸素運動が適しており、週3～5日、30～50分を推奨された。(但し就寝前3時間は逆効果)

3.深部体温を下げること

お風呂から上がり、体温が下がり始めると眠気が起こる。就寝1時間前までに40℃のお湯に10～15分つかると血流が良くなり手足からの放熱がスムーズになる。

2.体内時計を乱さない

夜更かしをせず、休日の起床時間は平日と誤差1時間以内とし寝だめしない。また昼寝は20分までにする。

4.睡眠環境を整える

夏季 室温 25～28℃ 湿度 40～60%

冬季 16～20℃ 50%以上

部屋の明るさ 0.3ルクス(晴れた日の月明かり程度)

音 40デシベル(図書館内レベル)

就寝前の飲酒、喫煙、スマートフォン等は逆効果になる。

演題2は「コロナ禍のメンタルヘルス～睡眠の重要性～」で、講師は山下英尚広島市東区医師会会員(みんなの睡眠ストレスケアクリニック医院長)が務められた。

新型コロナウイルス感染症特有の反応として、感染の不安、隔離の恐怖、お金の不安、孤立感などがあり、それらが不眠症を発症する要因になり得る。睡眠の役割として、脳、神経、体の疲労回復、老廃物の除去、細胞の新陳代謝、記憶の再整理、ストレス緩和、免疫機能向上、ホルモン分泌などがあるが、不眠症が重症化すると、QOLが低下し、身体疾患のリスクファクターになる。症状としては入眠障害、中途覚醒、熟眠障害、早期覚醒などで、慢性的に回復感のない質の良くない睡眠が続く。一定期間(週3、1か月以上)症状が持続する場合や、以前認められなかった日中の機能障害が存在する、睡眠に関する生活習慣の見直しを行っても上記の症状や生活上の支障が続く場合受診が必要となる。不眠症の治療は薬物療法、非薬物療法を組

み合わせて行うが、各個人の不眠の原因(睡眠系、覚醒系、体内時計系)を考えた上で治療法を考える必要があると述べられた。

質疑応答の後、住吉秀隆広島市東区医師会副会長(東区地対協副会長)が閉会の辞を述べ閉会した。なお、東区支部から宮村健一支部長、前島真紀子副支部長、岩井敏之氏が会場、竹本美保氏がZoomにて参加した。



研修会の様子

南区支部

令和4年度 南区認知症初期集中支援事業研修会

日時：10月7日(金)午後7時

場所：Web開催

標記の会が開催された。この研修会は、広島市南区医師会が広島市からの委託事業として認知症初期集中支援事業を行っており、その事業の周知、並びに、南区における認知症の地域連携の充実化のために企画したものである。

南区の医師、歯科医師、訪問看護師、介護支援専門員等多職種が、53名参加した。上綱雅一南区医師会理事の司会により研修会は進行した。前半は福島太郎松田病院医師が「南区認知症初期集中支援チームの振り返り」と題して講演を行った。講演では、認知症初期集中支援チームの業務内容の説明があり、活動の振り返りとして、紹介された経路の紹介があった。そして、現状の課題と関係機関との連携について説明があった。その後、野島秀樹南区オレンジ支援チーム員医師が「認知症の方と精神疾患の介護者への支援～介護者の主治医の精神科医師との連携」と題して講演を行った。講演ではオレンジチーム員がICTを用いて多職種で情報共有している説明があり、事例報告のあと、グループに分かれて意見交換をおこなった。グループ討議

では、色々な職種の方々から、精神疾患の疑いがある介護者への支援は非常に困難であることが体験として報告された。

最後に、広島市南区地域支えあい課の佐藤隆史氏より「広島市高齢者虐待防止ネットワーク事業について」と題して講演があり、研修会を修了した。

なお、南区支部より、河原利哉支部長、小笠原健氏、竹田茂氏、中川誠氏が参加した。



研修会の様子

広島市大州地域包括支援センター主催 「元気アップセミナー」

日時：10月11日(火)午後1時30分

場所：広島市留学生会館 2階「ホール」

標記の講座が、広島市大州地域包括支援センター主催で開催され、岡崎文彦地域歯科保健部委員が、「お口の老化・ケア・リハビリについて」と題して地域の高齢者22名に対して講演を行った。

講演では、まず超高齢化に伴うフレイル、オーラルフレイルの説明を行い、誤嚥性肺炎により死亡率が増加していること、新型コロナウイルスの重症化の一因になっていることを解説した。

次に、口腔内清掃の方法について、ブラッシング方法、フロス、歯間ブラシの併用をすることの有用性、義歯の管理方法などを説明した。

最後に、舌のリハビリテーションについて、舌の運動機能の維持・向上が摂食嚥下機能の維持・改善や誤嚥性肺炎の予防に有効であることを解説した。摂食嚥下機能には舌

の筋力が重要であることを説明し、舌圧測定器にて舌の筋力が数値として把握できるようになったことを紹介し、ペコぱんだを用いた舌圧トレーニングを出席者全員で行った。

講演後の質疑応答では、美味しく食事ができるためのお口の健康維持には虫歯や歯周病のケアだけではなく、口腔習癖も関連していること、舌や口腔周囲筋の力・唾液といった口腔内の機能の維持も重要であることを理解して頂いた。

地域歯科保健部では今後もこのような活動を通じて、舌圧測定器やペコぱんだを活用した通所口腔ケアサービス利用のきっかけとなる取り組みや高齢者のフレイルへの移行を予防する啓発を行っていく所存である。

総務部

休日診療保険請求における留意事項について

現在、休日診療保険請求のレセプトチェックは総務部が主体となって行っております。その際、間違いや気になった点を以下に記載しております。休日診療に出務する際の参考にしていただけたら幸いです。

- ・ P 急発の病名での消炎処置(158 点)が見られました。ご存じの通り、消炎処置は、抜歯を前提として急性症状の消退を図ることを目的とした根管拡大であるので、P 急発や GA 病名での算定はできません。Per 病名が必要になります。
- ・ 診療録の 1 号用紙の記載において、傷病名欄が空白のものや略称のもの(C、Pul、Per 等)が散見されました。傷病名欄は略称を使用せず C1、C2、C3 急化 Pul、C3 慢化 Per 等の記載をお願いします。
- ・ 診療録の 2 号用紙の記載が主訴のみのもや、レントゲン撮影の所見のみのもがありました。処置がなくても症状や口腔内の所見、説明した内容等のカルテ記載をお願いします。

(森本 慎樹)

学術部

根面齲蝕に対するフッ化物歯面塗布処置について

2022 年度の診療報酬改定において、初期の根面齲蝕に対するフッ化物歯面塗布処置が、訪問診療だけでなく 65 歳以上の外来患者にも算定可能になりました。そこで今回は、根面齲蝕に対する治療法とその材料の選択や予防法の中から、主にフッ化物歯面塗布処置について改めてまとめてみたいと思います。

超高齢社会を迎え、歯周病のリスク管理の向上によって多くの歯が口腔内に保たれるようになる一方で、根面齲蝕が新たなカテゴリーの歯の硬組織疾患として認識されつつあります。ただ、根面齲蝕はその発生部位が原因で充填処置時の防湿が不完全になったり、高齢者の口腔環境の改善が難しいため修復物周囲から二次齲蝕が発生しやすくなったりするなど、根面齲蝕の修復治療は困難になる場合があります。このため、非侵襲的な対応、すなわち根面齲蝕を削らずに非活動性にし、それに対し継続して実施する維持管理によって、その進行を抑制・停止させることができれば、臨床的意義は大きいと考えられます。そこで有効なのがフッ化物の歯面塗布やフッ化物配合の歯磨剤です。

フッ化物歯面塗布は小児の齲蝕予防の方法として一般的ですが、根面齲蝕にも効果があることが確認されています。その薬剤として中性フッ化ナトリウム溶液(以下 NaF)やリン酸酸性フッ化ナトリウム溶液(以下 APF)があります。フッ化物を効果的に根面に作用させるためには、根面の清掃と乾燥が重要です。塗布には綿球・綿棒法、歯ブラシ法、トレー法があります。NaF は 1 年ごとに 2 週間以内に 4 回塗布することが推奨されていますが、APF は 1 年に 1～4 回程度を目安にします。ただし APF は近年ポーセレンに対する腐食作用やチタン合金に対する劣化作用があることがわかってきたため、口腔内にそれらが確認される場合は APF を避けたほうが良いです。

ただし歯科点数表においては当該処置の算定は月に 1 回限り、2 回目以降は前回実施月の翌月の初日から起算して 2 月を経過した日以降に行った場合に限り、月 1 回算定する取扱いとなっています。

また、主治の歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、患者に対してフッ化物歯面塗布処置を行った場合は、主治の歯科医師は当該歯科衛生士の氏名を診療録に記載し、当該歯科衛生士は業務に関する記録(歯科衛生士業務記録簿)を作成しなくてはなりません。

齲蝕の進行を抑制する薬剤として開発されたフッ化ジアミン銀は、1970年代から小児齲蝕の救世主としてたくさん使用されてきましたが、近年根面齲蝕の進行止めとして再び脚光を浴びています。フッ化ジアミン銀はフッ化物の効果により、軟化した象牙質の再硬化が可能だけでなく、銀の沈着による殺菌効果により、プラークの沈着を防ぐことができます。これらにより、齲蝕予防、齲蝕の進行抑制、二次齲蝕抑制、歯髄保護、知覚鈍麻などの臨床的效果が期待できるとされています。使用法はいたって簡単で、乾燥歯面に薬液を染み込ませたミニブラシで3～4分間塗布し、水洗あるいは洗口させます。1回の塗布で効果が弱い時には2～3日間隔で3～4回繰り返します。なお、この薬剤は齲蝕病変を黒変させることが最大の欠点であり、著しい審美的問題が生じます。歯の喪失を防ぐために、前歯部に使用せざるを得ない場合もあります。その際は事前に患者や家族に説明して、了解を得る必要があります。

根面齲蝕ハイリスク者は、高齢者に特徴的なカリエスリスクファクターがあるため、根面齲蝕の治療だけでなく、その発生前からリスクを予測し、多角的な対応を行うことが求められます。プロフェッショナルケアでは個々の患者の口腔環境に合わせたブラッシング指導と専門的歯面清掃を行い、セルフケアでは規則正しい生活と食事後にすぐゆすいでもらうなどの生活習慣の改善を指導し、高濃度フッ化物配合の歯磨剤(1000～1450ppmF)とフッ化物配合洗口剤(250～900ppmF)を併用してもらうことが望ましいです。また、2～3か月ごとに定期健診を実施し、カリエスリスクの抑制を継続していくことが重要です。

普段の診療で自分はあまり深く考えずにCR修復を選ぶことが多かったのですが、個々の患者に合う適切な材料や治療法を選択して、高齢者の方々が一生涯高いQOLを維持できるように、私の知識を整理し、見直したいと思います。また、それが可能な診療室づくりにも気を配っていきたいと思います。

(参考文献)

- ・「根面う蝕の臨床戦略」 杉原直樹 高柳篤史 監著 2018年3月 クインテッセンス出版株式会社
- ・「歯界展望」 vol.140 No.3 2022 9月号 “根面う蝕の診療ガイドライン策定について” 松崎英津子 医歯薬出版株式会社
- ・「齲蝕予防マニュアル」 眞木吉信 石塚洋一 編著 デンタルハイジーン別冊 医歯薬出版株式会社
- ・「う蝕治療ガイドライン」 第2版 日本歯科保存学会 編 2015年 永松書店
- ・「う蝕治療ガイドライン」 第3版 日本歯科保存学会 編 2020年 永松書店

(江盛 顕司)

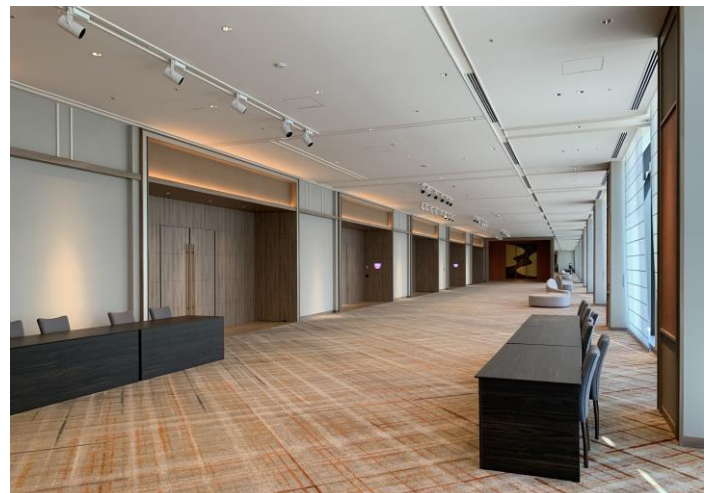
厚生部

2022年 クリスマスパーツー開催！

厚生部では歯科医師会員紹介ということで毎回1名の先生に焦点を当て、記事にさせていただいております。しかし、今回は3年ぶりのクリスマスパーティー開催決定ということで、我々厚生部についての話を記事にしてみたいと思います。

我々厚生部は、熊谷宏会長のもと3年前の2019年に発足しました。6月より活動を開始し、原爆慰霊祭、クリスマスパーティーをお手伝いさせていただきました。2020年新年互礼会では書道家の先生に書初めを披露して頂くなど企画を実現することができ厚生部として順調な滑り出しでした。

その後も会員間の親睦を図る独自の企画などを計画しておりましたが、その年の2020年3月に新型コロナウイルス感染症の世界的パンデミックにより密になるような企画は実現できなくなりました。コロナ禍の間は紙面でのクリスマスパーティーや新年互礼会の代わりにのだより特別号の作成



クリスマスパーティーの会場前

などを行ってきましたが、我々厚生部としてはやりたい事がなかなかできず、もやもやしておりました。

そして、ようやくクリスマスパーティーを開催出来るところまでできました。

クリスマスパーティーではみなさんに楽しんでいただけるよう、景品抽選会には予算を多くさいいただき、医院の女性スタッフにも喜んでもらえるように女性目線の景品もたくさんご用意しております。医院の忘年会としてご利用して頂きやすいように十分な感染防止対策も講じて参ります。3年ぶりのこの機会にみなさんで親睦を深めてみませんか。

私事ではありますが、新入会員の時に初めて新年互礼会に参加して同期の新入会員と仲良くなったり、おくちの健康展をお手伝いして色んな先生と交流を持てた事、またカーブ観戦を通じて会員の先生のお顔を覚えた事などは広島で歯科医師をやっていく上でとても役にたっています。

若い世代の先生方もこのような機会に参加してみると、必ず先生にとって有益な場になると思います。この機会を通じて皆さんの親睦が深まり、より一層本会が盛り上がるように我々厚生部一同、準備に邁進してまいりますので皆様のご参加をお待ちしております。

(横村 康彦)

～厚生部からのお知らせ～

先生方の趣味に関する記事を募集しております。先生ご自身のこだわりの趣味について、広島市歯科医師会だより1ページ分、ご披露いただけますと幸いです。奮ってご応募ください！

地域歯科保健部

学校歯科健康診断におけるその他の疾病及び異常について

これまでの学校歯科健診における診断基準について、5月号では「顎関節」、6・7月号では「歯列・咬合」、8月号では「歯垢・歯肉」、9月号では「CO 要相談」、10月号では「歯式」について述べてきましたが、今月号では「その他の疾病及び異常」について確認していきます。

学校歯科医は健康診断時に疾病異常が認められた場合には、学校歯科医の「所見」欄や「その他の疾病及び異常」欄に記入し、適切な事後措置を指示することになっています。歯や歯肉だけでなく、口唇・口角・舌・舌小帯・口蓋・口腔粘膜についても検査し、処置や精密検査を必要とする場合には、その他の疾病及び異常の欄に病名又は異常名と部位を記入します。

具体的には、どのような疾病を記入するか列挙していきます。

- ・歯の硬組織の異常：癒合歯、癒着歯、歯牙破折、エナメル質形成不全、円錐歯
- ・歯数異常：先天性欠如歯、過剰歯
- ・歯の位置異常：転位歯、低位歯、埋伏歯
- ・唇・口蓋の異常：口唇裂、口蓋裂、口唇炎、口角炎
- ・軟組織の異常：ヘルペス、エプーリス、アフタ、潰瘍、小帯異常、舌苔、舌炎
- ・不良習癖：吸指癖、咬唇癖、咬舌癖、舌突出癖
- ・口腔機能発達不全：口唇閉鎖不全、構音機能異常、異常嚥下癖

などが挙げられます。

健康相談・保健指導の対象としては、複数のむし歯に罹患している、歯肉の状態が悪い、歯列・顎関節に異常がある等が挙げられますが、不良習癖や口腔機能発達不全については顎関節や歯列・咬合などへの関与も大きいため、特に注視して診査する必要があります。

(林内 優樹)

元気じゃけんひろしま 21(第2次)

推進会議生活習慣病予防及び働く世代の健康づくりの最終評価について

だより10月号にて評価会議の開催報告をしましたが、今年度の最終評価について、よりわかりやすくまとめたものをお示しいたします。

(評価A：目標に達した B:現時点で目標に達していないが、改善傾向にある C:変わらない D:悪化している E:評価困難)

目標項目	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加			評価 B
実績値等	ベースライン値 (平成23年度)	中間実績値 (平成28年度)	最終実績値 (令和3年度)	最終目標 (令和4年度)
	79.4%	88.3%	91.7%	95%
データソース	広島市節目年齢歯科健診結果			

目標項目	40歳以上で喪失歯のない者の割合の増加			評価 A
実績値等	ベースライン値 (平成23年度)	中間実績値 (平成28年度)	最終実績値 (令和3年度)	最終目標 (令和4年度)
	69.8%	80.4%	90.9%	87%
データソース	広島市節目年齢歯科健診結果			

目標項目	40歳から60歳における進行した歯周炎を有する者の割合の減少			評価 D	
実績値等	ベースライン値 (平成23年度)	中間実績値 (平成28年度)	最終実績値 (令和3年度)	最終目標 (令和4年度)	
	40歳	47.2%	44.8%	53.2%	35%
	60歳	66.2%	60.5%	67.7%	55%
データソース	広島市節目年齢歯科健診結果				

目標項目	過去1年間に歯科健康診査を受診した者の割合の増加			評価 B
実績値等	ベースライン値 (平成23年度)	中間実績値 (平成28年度)	最終実績値 (令和3年度)	最終目標 (令和4年度)
	42.3%	47.4%	47.0%	65%
データソース	広島市市民健康づくり・生活習慣調査			

目標項目	糖尿病治療薬内服又はHbA1cがJDS値6.1%以上の者の割合の増加の抑制			評価 D
実績値等	ベースライン値 (平成22年度)	中間実績値 (平成28年度)	最終実績値 (令和3年度)	最終目標 (令和4年度)
	6.6%	7.2%	7.8%	7.4%
データソース	広島市特定健康診査結果			

上記のように、広島市の傾向として、「歯が残る者は増えたが、同時に歯周病も増えている」こととなります。歯周病に罹患しても安定期治療により歯を残すことが可能になったとも考えられ、一概に悲観することではないかもしれませんが、今後はより健康な口腔を維持できるよう改善していく必要があると考えられます。

関連項目として、「糖尿病治療薬内服又はHbA1cがJDS値6.1%以上の者の割合の増加の抑制」でも平成22年度6.6%→令和3年度7.8%(目標値7.4%)と悪化しており、歯周病と糖尿病の密接な関係について広く周知することで、両疾患の減少に努める必要があると考えられます。

なお、本会議の評価には「**広島市節目年齢歯科健診結果**」が役立っています。会員の先生方には引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より —こんな医療トラブルが起きています—

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：医療過誤

虫歯で歯科を受診して、抜歯を勧められたが、まったく問題ない歯を抜かれた。

(センターの対応)

歯科医師会の連絡先を伝える。

(コメント)

詳しい経緯は不明ですが、患者さんの主訴以外の治療を行う際は、なぜその治療が必要かを十分説明した上で、患者さんの同意を得て行いましょう。もし過失等があれば真摯に対応し、歯科医師会に報告・相談をしましょう。



事例2：院長の対応について

かかりつけ医の診察後、予約を取る間もなく帰らされた。後日、説明を求めると、信頼関係が築けないとのこと受診を拒否された。院長を指導する機関はないか。

(センターの対応)

センターは医療機関を指導監督する機関ではないことを説明した。

(コメント)

詳しい経緯はわかりませんが、できるだけ患者さんとのトラブルを避けるため、相手の人格を尊重するように心がけましょう。

地域歯科保健部

広島市健康づくりセンター健康科学館への口腔衛生普及啓発資料寄贈

日時：10月19日(水)午前9時

場所：広島市総合健康センター 5階「広島市健康づくりセンター健康科学館」

一般社団法人広島市歯科医師会は、標記施設に対し口腔衛生普及啓発資料を寄贈した(次ページ参照)。前田育子広島市健康づくりセンター健康科学館館長からは、感謝の言葉とともに、同施設において歯科関連のイベントを開催する際には本会に対しご協力を賜りたい旨のお話をいただいた。本会は今後も地域社会により一層貢献すべく、活動を続けていく所存である。なお、本件に関して、石田一輝地域歯科保健部理事が参加した。



前田育子広島市健康づくりセンター健康科学館館長と石田一輝理事

寄贈品一覧

DVD	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで歯みがき ピカピカの歯 ・かむことの大切さ ・ハハ姉妹 	各2枚
紙芝居	<ul style="list-style-type: none"> ・わははのお話 	2冊
冊子	<ul style="list-style-type: none"> ・あなたの歯 あなたの健康 そして あなたの豊かなる人生 ・スポーツと歯の関係 スポーツによる外傷の予防について 	各20冊
リーフレット (8種)	<ul style="list-style-type: none"> ・乳歯のむし歯 (小児) ・お口ポカン気になりませんか? (小児) ・子どもの矯正歯科・混合歯列期 (小児) ・子どもの矯正歯科・永久歯列期 (小児) ・歯ブラシだけで大丈夫? (一般) ・歯と歯が触れていませんか? (一般) ・在宅訪問歯科健診・診療 (高齢) ・短期集中通所口腔ケアサービス (高齢) 	各20枚
チラシ	<ul style="list-style-type: none"> ・お役立ち事業のいろいろ 	20枚
ポスター	<ul style="list-style-type: none"> ・節目年齢歯科健診ポスター 	3枚

広 報 部

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事の [QRコード](#) をスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

今月の知っておきたいこと

▼歯科医院の侵入盗被害が急増、短時間でドア割る手口多く 岐阜県警が防犯指導



Yahoo!ニュース (2022年10月1日)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/de2119772a6d105ced8ad357bbbfbccfb3d9cb98>

岐阜県内で歯科医院を狙った侵入盗被害が急増していることを受け、県警生活安全総務課は、岐阜市太郎丸の中村歯科医院で、防犯指導を行った。同課によると、県内では昨年、病院を狙った侵入盗被害はなかったが、今年に入って8月末までに18件発生している。うち14件が歯科医院であることから、防犯対策を徹底してもらおうと同課が企画した

▼日歯、定例会見を開催



Quint Dental Gate (2022年10月6日)

<https://www.quint-j.co.jp/web/topic/topi.php?id=3281>

さる9月29日(木)、歯科医師会館において、日本歯科医師会(以下、日歯、堀 憲郎会長)による定例記者会見が開催された。

冒頭の挨拶の中で堀会長は、次期日歯会長予備選挙について言及。2023年2月に行われる予定の次期選挙では立候補しない意向を初めて表明した。

堀会長は、日本歯科医師連盟の不祥事によって揺らいだ歯科界の信頼の回復と結束が望まれるなか、2016年3月に日歯会長に就任。就任当初は「歯科界に向けられる不信任感を断ち切りたい、はじめを付けて出直してほしい」との業界関係者の期待に応えるべく、公益社団法人の日歯としてあるべき姿を示すとともに、歯科界の活性化のため会務運営に邁進してきた。そして、内外の信頼を回復させ混乱を收拾させた後には、山積する歯科界の課題への対応や歯科医療の果たす役割の発信に努めてきた。

なかでも、近年の主たる活動には「新型コロナウイルス感染症のまん延における対応」、「2040年を見据えた歯科ビジョンの策定」の2つが挙げられる。前者において、特に感染拡大初期で喫緊の課題であったマスクおよび消毒液の流通確保や日本歯科医師会休診補償制度の創設、歯科医師によるワクチン接種の実現など、医療人の一員としての決意を内外に示してきた。後者では、2020年10月に『2040年を見据えた歯科ビジョン—令和における歯科医療の姿—』を刊行するだけにとどまらず、検討会やフォローアップ会議を重ね、歯科界の総力を挙げて取り組むべき課題の解決と具体的な展開に向けて取り組んでいる。

ニュースピックアップ

▼ワクチン冷凍庫「使用めどなし」40 台 …大半が「超低温冷凍庫」、ファイザー 製供給不足で余剰に



yomiDr. 2022 年 10 月 10 日

<https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20221010-OYT1T50072/>

新型コロナウイルスのワクチンを保管する冷凍庫が十分に活用されていない問題で、9 月 1 日時点で、配備された計 4503 台のうち、35 自治体の計 166 台は配備から 1 年以上たちながら一度も使われておらず、さらに 11 自治体の 40 台は今後も使用する予定がないことが読売新聞の自治体への調査でわかった。

◎新型コロナウイルスのワクチン用冷凍庫が、国の接種事業終了後に一斉に不要になることについて、多くの自治体が危機感を抱いており、行き場を失う冷凍庫の有効活用が求められています。

▼東工大と東京医科歯科大、単一の新 大学に…「医工連携」へ 24 年度中に統合



読売新聞オンライン 2022 年 10 月 13 日

<https://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/kyoiku/news/20221013-OYT1T50244/>

世界レベルの研究大学を目指して統合を協議中の、いずれも国立の東京工業大（益一哉学長）と東京医科歯科大（田中雄二郎学長）が、2024 年度中をめどに統合し、単一の新大学に移行する方針を固めたことがわかった。医療や工学など互いの得意分野を掛け合わせた先端研究を展開し、政府が年数百億円を支援する「国際卓越研究大学」の認定も目指す。

◎統合されて新設される大学の名称が気になります。歴史ある大学名ですから、平成の大合併で消えてしまった地名みたいにならないようにしてほしいですね。

▼歯科クリニック院長『ペン型カメラ設置 で従業員の着替え盗撮』か…設置する 様子も映る



TBS NEWS DIG 2022 年 10 月 13 日

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/177524?display=1>

女性従業員の着替えを盗撮する目的でペン型カメラを設置したとして兵庫県伊丹市の歯科医師が逮捕されました。兵庫県の迷惑防止条例違反の疑いで逮捕されたのは「たにもと歯科クリニック」の院長・谷本匡隆容疑者（47）です。

◎会員の皆さん、気をつけましょう！

▼大麻から難病治療薬、月末にも国内治 験へ…法改正で医薬品使用を認める方針



yomiDr. 2022 年 10 月 18 日

<https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20221017-OYT1T50272/>

医薬品への使用が認められていない大麻の成分を主とする薬の治験を、英製薬企業の日本法人「GWファーマ」が今月末にも始める。既存の薬が効きにくい難治性てんかんの患者が対象で、治験終了後に製造販売の承認を得られれば、大麻から製造した国内初の治療薬となる。

◎今回の薬は 2018 年に米国、19 年に欧州で承認を受け、国内でも難治性てんかん患者の家族などから使用を求める声があがり、厚労省はこの薬について「治験での使用は可能」とする見解を示していました。特に大麻の成分を主としていることから、長期的服用に伴う副作用について、十分検証されることが望まれます。



【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル

ぜひご視聴ください

チャンネル登録お願いします

9 月 7 日放送分

「8020 運動について」

広島市歯科医師会 延本全彦氏

<https://youtu.be/eRo6VG2b0Ps>



9 月 21 日放送分

「歯肉の腫れについて」

広島市歯科医師会 周藤巧氏

<https://youtu.be/zPcRjz7DEBI>





FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から
11月2日放送分

「矯正治療って何をするの」

広島市歯科医師会 土江雄治朗氏

矯正治療と聞くと、つい身構えてしまう方もいると思います。「痛そう」「装置の見た目が気になる」などマイナスのイメージがありませんか。子どもから大人までの矯正治療のポイントを丁寧に説明します。治療に対する皆さんのイメージが変わるかもしれません。歯科医師の土江雄治朗さんが話します。

11月16日放送分

「とても大切 乳歯のお話」

広島市歯科医師会 岡田浩幸氏

乳歯は生え替わるから、虫歯になっても大丈夫と思っていますか。乳歯には、子どもの体の発育、発達のためにとても大切な役割があります。80歳までに20本以上の歯を残すためには乳歯の時期からのケアが重要です。今回は、乳歯の役割や乳歯の虫歯の特徴、予防法について、歯科医師の岡田浩幸さんが話します。

広島市歯科医師会は会員の皆様に対する情報提供の一助として会員専用のLINE公式アカウント(非公開)を開設しました。



LINE 公式アカウント
友達募集中！



「@698zzzkc」で検索

このアカウントは非公開のものです。
広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

今までの配信内容

- 6月14日配信 一般社団法人広島市歯科医師会第115回定時総会の開催のお知らせ
- 7月1日配信 WHITE CROSS Webセミナー(内山茂先生)動画視聴期間延長のお知らせ
- 9月30日配信 安佐歯科医師会より講演会のご案内「多職種連携講演会」
- 10月26日配信 WHITE CROSS Webセミナー(古屋純一先生)11月10日開催のお知らせ

新規登録時に 管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。

10月22日(土)、新潟市歯科医師会の主幹のもと新潟市において開催された標記の会に、瓜生副会長、能美専務理事とともに参加して参りました。

十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会とは、13の政令指定都市の歯科医師会役員が年に一度一堂に会し、決められた議題について情報交換及び協議を行うものです。第1回目が開催されたのが昭和43年(名古屋市)で今回が53回目となります。

この協議会では単に年に一度の協議会を開催するだけでなく、災害時における相互扶助の精神に基づきお互いの支援活動を行うために、「十三指定都市歯科医師会大規模災害時における相互支援に関する協定書」を交わしています。

参加歯科医師会において大規模災害が発生し、被災市歯科医師会独自では十分な災害時歯科医療活動が実施できない場合に、被災市歯科医師会の要請により、被災亜急性期以後に災害を受けていない歯科医師会が支援市歯科医師会として、医薬品・医療資器材等の提供や歯科医療支援チームの派遣などを行おうとするものです。

年一度開催される協議会ですが、各都市の持ち回りで主幹を行います。新潟市歯科医師会は本来令和2年度の主幹でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、令和2年・3年と中止となり3年ぶりの開催となりました。

今回のテーマは、「新型コロナ

と歯科医療 ～最前線の我々はいかにコロナと向かい合ってきたか～」で、堀憲郎日本歯科医師会会長の特別講演「健康寿命の延伸に向けて～歯科医療の過去・現在・未来」及び、山崎哲新潟市保健衛生部医監による基調講演「新潟市における新型コロナウイルス対応～保健医療分野の取り組みを中心に～」のあと、報告協議を行いました。

報告では、新型コロナウイルス対応だけでなく各歯科医師会における公衆衛生事業の紹介もありましたが、大変参考になることもあり、早速先日理事会にて報告し本会事業に活かしたいと思っています。

本会が平成25年より行っている学校健診における「歯鏡等滅菌配送事業」は、本協議会において、札幌歯科医師会が取り組んでいることを知り、平成21年7月に当時の土江健也副会長と川原正照専務理事が札幌歯科医師会へ現地調査に出向くなどして検討され、発展させた形で実現に至ったものです。

協議会の後は、懇親会が行われました。たくさん用意された新潟の銘酒とともに3年ぶりの再開を祝うとともに、協議会では聞けなかったさまざまな事業の詳細などについて情報交換しました。

この協議会に私が初めて参加したのが、平成19年川崎市歯科医師会の主幹で行われた第40回でした。「公益法人改革における政令指定都市歯科医師会の取り

会長コラム (第40回)

柔しく剛く

十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会に参加して

熊谷 宏

組み」がテーマであったことから、公益法人改革担当の総務部理事として参加したことを懐かしく思い出しました。

平成24年の第45回は広島市歯科医師会の担当でした。土江会長を中心に1年越しで準備し、「公に資する歯科医師会の歩むべき道」をテーマに「新公益法人制度への対応について」「新制度下における行政からの委託・補助事業のあり方について」の二つの分科会を設定するなど、準備に理事会・事務局総出で頑張ったことや、懇親会では土江会長の顔写真をラベルにした日本酒を用意して、参加者から喝采を浴びたことなどを懐かしく思い出します。

来年は、川崎市歯科医師会の担当で開催されます。その後は熊本一名古屋一神戸一北九州一広島の一順となりますので、2028年が広島市歯科医師会の主幹となります。2028年は広島市歯科医師会創立110周年の記念すべき年でもあります。時代を担う若い先生方が立派な姿で様々な会務に取り組めるよう、私自身目の前の一つ一つの会務に真摯に取り組んで参りたいと思います。

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み

(2022年10月)

新型コロナウイルス感染症対策これまでの経緯(2022年10月1日～10月31日)

世界・日本での経過	2022年	広島市歯科医師会での対応
国内累計感染者数 21,327,482人 世界累計感染者数 615,141,539人	10月1日	
厚労省 新型コロナ アストラゼネカのワクチン 有効期限で接種終了	10月2日	
政府公表 コロナワクチン 3回接種終了 65.4% オミクロン株 0.3%	10月3日	会員相談対応抗原検査キット配布
モデルナ オミクロン株「BA.5」対応ワクチン 厚労省に承認申請	10月5日	
東京都 専門家によるモニタリング項目の分析結果公表 インフルエンザと新型コロナの同時流行懸念	10月6日	
政府 感染症のまん延に備えた感染症法などの改正案を閣議決定	10月7日	
新型コロナ後遺症 重症患者の半数が1年余り認知機能の不調続く	10月8日	
東京都高齢者福祉施設協議会が調査 新型コロナ 高齢者施設の感染者の多くが入院できず施設で療養 国内累計感染者数 21,577,930人 世界累計感染者数 618,521,620人	10月10日	
水際対策きょうから大幅緩和 入国上限撤廃 個人旅行も解禁	10月11日	会員相談対応抗原検査キット配布
厚労省コロナ専門家会合 観光で接触増に注意 インフル同時流行懸念	10月12日	
米ファイザー 5～11歳用「BA.5」対応ワクチン 厚労省に承認申請	10月13日	
富士フィルム コロナ治療薬「アピガン」開発中止 重症化抑える効果得られず	10月14日	
新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチンの職域接種 一部会場 前倒して開始	10月17日	
ワクチン3回目以降の接種 5か月の間隔を3か月に短縮へ	10月19日	
新型コロナ専門家会合 新規感染者数増加続く可能性 第8波も 国内累計感染者数 21,921,490人 世界累計感染者数 623,000,396人	10月20日	
東京 新型コロナウイルスワクチン 大規模接種会場で5回目開始	10月21日	
九州大学の研究グループ 接種後の症状“ワクチン”によるものか検証できるシステム開発	10月23日	
	10月22日	第53回十三指定都市歯科医師会 役員連絡協議会(新潟市)
	10月24日	三役会
	10月25日	理事会
厚労省専門家会合 新型コロナウイルス感染者横ばいも 接触増の影響注意	10月26日	
京都大学西浦教授 「第8波」800万人感染の試算 ワクチン接種で3割減も	10月27日	
オミクロン株の新たな変異ウイルス「XBB」東京都内で初確認	10月28日	会員相談対応抗原検査キット配布
国内累計感染者数 22,299,772人 世界累計感染者数 626,337,158人	10月30日	
政府公表 コロナワクチン 3回接種終了 66.2% オミクロン株 4.7%	10月31日	

集計元情報：Johns Hopkins 大学、厚生労働省、各自治体 ※以前のは前号参照

10月定例理事会報告

「部外報告」

- 9月29日 歯科医師国保組合理事会
" 社会保険診療報酬支払基金再審査
10月3日 (県歯)新規指導面談
10月5日 (県歯)新規指導面談
10月6日 新規個別指導立会
" (県歯)会員サポート室会議
10月8日 全国歯科医師国保組合連合会令和4年度第1回総会
10月16日 第5回薬と健康のやく薬フェスタ
" 【中止】(県歯)健康ソフトボール大会
10月17日 アレクシオンファーマとの協議
10月19日 広島市健康づくりセンター健康科学館DVD他関連資料寄贈
" 【Web】広島市連合地区地域保健対策協議会「地域医療検討委員会」
" 広島県国保連合会歯科再審査部会
10月20-24日 広島県国保連合会歯科審査部会
10月20-25日 社会保険診療報酬支払基金審査
10月22日 第53回十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会(新潟市)
10月24日 【Web】令和4年度第1回広島圏地域医療構想調整会議

(連盟関係)

- 10月4日 ゆざき知事を囲む県政懇談勉強会

「総務関係」

- 10月19日 第4回支部長・副支部長会
10月24日 【Web】三役会
10月25日 定例理事会

(慶弔関係)

(入会退会関係)

- 9月29日 中区支部 永井亮先生入会
10月5日 入会後面談(永井亮先生)
" 入会前面談(浅川隆司先生)

(県歯理事会関係)

- 10月6日 (県歯)理事会

(1) 総務部 (森本理事)

- 9月29日 社会保険診療報酬支払基金再審査
10月1日 新規指導面談
10月5日 入会後面談(永井亮先生)
" 入会前面談(浅川隆司先生)
10月12日 定例委員会
10月13日 (県歯)保険部常任委員会
10月20-25日 社会保険診療報酬支払基金審査

(2) 学術部 (花岡理事)

- 10月14日 定例委員会
10月16日 第5回薬と健康のやく薬フェスタ

(3) 厚生部 (谷理事)

- 10月4日 定例委員会
10月19日 クリスマスパティー現地視察

(4) 地域歯科保健部

- 10月21日 定例委員会

<地域保健> (若林理事)

- 10月6日 中区介護認定審査会
10月12日 (県歯)地域保健部常任委員会
10月13日 中区介護認定審査会
10月15日 (県歯)特殊歯科健診研修会
10月17日 アレクシオンファーマとの協議
10月18日 令和4年度第2回広島市障害者差別解消支援地域協議会

<地域連携> (藤田理事)

- 9月29日 西区介護認定審査会
9月30日 令和4年度広島市在宅医療介護連携推進委員会「摂食嚥下・口腔ケア対応力の向上に向けた多職種連携の体制づくりの検討」専門委員会第1回ワーキンググループ会議
10月5日 老人ホームあいらの杜面談
10月6日 西区介護認定審査会
10月13日 西区介護認定審査会
10月20日 西区介護認定審査会
10月24日 中広地域包括支援センター主催出張講座

<学校保健> (石田理事)

- 10月19日 広島市健康づくりセンター健康科学館DVD他関連資料寄贈

(5) 広報部 (水内理事)

- 10月3日 FMちゅーピー収録
10月4日 【Web】校正委員会(だより10月号)
10月21日 【Web】情報調査委員会

FMちゅーピー (放送日)

- 11月2日 「矯正治療って何をするの」
広島市歯科医師会 土江雄治朗氏
11月16日 「とても大切 乳歯のお話」
広島市歯科医師会 岡田浩幸氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

- ホームページアクセス数
一般サイト 訪問者 1,157 (累計 118,997)
ページビュー 15,835 (累計 1,414,389)
会員サイト 訪問者 170 (累計 28,483)
ページビュー 876 (累計 277,505)
広報部… Talking Heads<最新情報>
掲載件数 119件(9/21~10/20)
LINE公式アカウント 登録者数
10月21日 119名

(7) 特別委員会(会史等編集特別委員会)

(8) 救急蘇生委員会

(9) 各部事業計画について

(10) 歯科医療安全相談

- 9月25日 休日歯科診療受診者について
- 10月12日 相談 節目年齢歯科健診受診者負担額について(節目年齢女性)
- 10月13日 相談 矯正治療終了について(40歳代男性)
- 10月18日 歯ブラシとピラをポスティングした歯科について(会員からの情報提供)

「協議事項」

(1) 入会について(1名)

- 西区支部1名継続審議中
- (2) 会費について(1名)
終身会員診療状況変更による会費額変更について1名承認
- (3) 「太田川」執筆者候補(巻頭言・特集・提言)について
執筆者決定
- (4) クリスマスパーティーについて
詳細協議、現時点では開催予定、感染者増なら延期
- (5) 新年互礼会について
参加者、内容協議、継続審議
- (6) 低フォスファターゼ症の周知について
会員に周知(だより12月号にて)
- (7) オンライン学術講演について
内容確認、会員へのFAX案内
- (8) その他

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局

E-Mail: hirosshima@dentalpark.net

広報部担当理事 水内裕之

E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : **Futaba**

本会PASS : **2622662**

協議会PASS : **welfare**

投稿記事締め切りは**毎月25日**です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

